

■福岡県知事指定特産工芸品



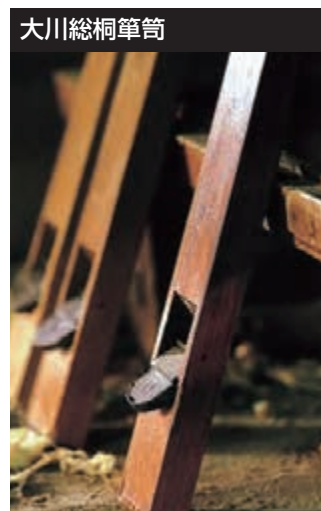
大川組子

大川組子は約300年の歴史を誇り、200以上もある伝統ある組み方は、より繊細なものとして今日に継承されている。大鋸や台鉋が出現したときのように、木工機械の発達は1mm以下の組み手を削り出し、組子細工の頂点を極めた。



大川彫刻

約480年前の大川木工の歴史。時同じ室町時代に全国各地社殿や寺院の柱・欄間などに装飾を施す建築彫刻が急速に発達する。大川の欄間は、立花藩の立川流の流れをくむ村石藩太郎に始まると言われ、主に社寺彫刻で業をなしていた。



大川総桐箆筒

大川家具の開祖、榎津久米之介が船大工の技術を生かして、天文5年(1536年)指物を始め、これが「榎津指物」の起こりとされている。文化9年(1812年)榎津長町に生まれた田ノ上嘉作が箱物の製作を修得して帰郷、箱物製作を始め、帳箆筒・衣装箆筒が19世紀中頃から生産され始める。



掛川

蘭草栽培は稲と共に古い作物とされている。福岡県内の弥生時代からタタミ表状筵が出土しており、蘭延織は既にこの時期に高い水準であったことがわかる。掛川は筑後花莫産の代表的なもので他県産地には見ることができない。

■大川伝統工芸振興会 会員名簿 (青字で表示されている会社をクリックすると紹介ページに移ります)

(五十音順)

会社名	代表者名	郵便番号	所在地	TEL(大川 0944)	FAX(大川 0944)
(株)飛鳥工房	廣松 利彦	840-2104	佐賀市諸富町徳富112-4	0952-47-5697	0952-47-6307
江頭家具店	江頭 良治	831-0004	大川市榎津746-2	86-3289	87-6237
家具工房樫(ゆずりは)	中村 大介	831-0005	大川市向島1739	88-9281	88-9281
桐里工房	稗田 正弘	831-0004	大川市榎津74-3	86-3938	88-2281
木彩工房	小島 嘉則	831-0033	大川市幡保176	87-1165	87-1165
(有)古典木工	古賀 通弘	831-0004	大川市榎津73-1	87-1189	86-5815
木屋民芸	坂本 信彦	834-1204	八女市黒木町木屋1159	0943-42-4808	0943-42-4808
坂井ガラス工房	坂井 徳宏	831-0005	大川市向島1543	86-4465	86-4955
(株)トーション	田中 雅博	831-0023	大川市下牟田口123	87-3012	87-7752
七三人工房	古川 七三人	831-0005	大川市向島1488	88-3490	88-3490
ナカヤマ木工	中山 貴裕	831-0041	大川市小保800	86-4227	86-4227
仁田原建具製作所	仁田原 進一	831-0005	大川市向島924-6	86-4302	86-4302
マルヤマ木工	田島 良平	831-0028	大川市榎津860-2	86-3519	86-3519
本村家具	本村 良一	831-0004	大川市郷原471	86-2338	—

大川社中

■大川社中の活動



平成26年度 国際ホテルレストランショー



通常展示品



平成25年 新宿パークタワー展示品



平成27年度 IFFT 出展

■大川社中 会員名簿 (青字で表示されている会社をクリックすると紹介ページへ移ります)

(五十音順)

会社名	氏名	郵便番号	所在地	TEL (大川0944)	FAX (大川0944)
(有)アイエム	石橋 亮一	831-0041	大川市小保19-1	86-3905	86-6730
(有)アサヒ突板工業	箴島 春樹	831-0005	大川市向島916-4	87-1102	87-1042
(株)イシモク・コーポレーション	石井 康博	831-0005	大川市向島1703	87-6688	87-6685
(株)ウッドサークル	江頭 新太郎	831-0041	大川市小保356-2	88-1557	88-1702
クリアプランニング(株)	沖野 洋行	831-0026	大川市三丸1231-2	87-2664	87-2718
(株)佐藤木材	佐藤 元昭	840-2104	佐賀市諸富町徳富266-1	0952-47-3855	0952-47-3892
(株)酒見椅子店	酒見 智大	831-0025	大川市坂井740-6	86-4385	88-0018
自然工房(株)	福山 直樹	831-0021	大川市大橋213-5	88-3312	88-3334
(株)関家具	関 正	831-0033	大川市幡保201-1	88-3550	88-3002
テクニカル堤(株)	堤 徳征	831-0032	大川市北古賀102	32-8766	32-8766
(有)トマト	池末 健太郎	831-0005	大川市向島1766	86-5488	86-5926
(有)平田椅子製作所	平田 尚二	840-2104	佐賀市諸富町徳富118-2	0952-47-6534	0952-47-6549
(有)伏見商会	伏見 平	831-0005	大川市向島2213-2	87-3654	87-3974
(株)プロセス井口	井口 敬茂	831-0034	大川市一木87-1	87-4826	87-0460
(株)丸仙工業	田中 智範	832-0088	柳川市間690-2	72-2201	73-6366
(株)松尾檜工場	松尾 武	831-0005	大川市向島2105-2	86-2362	86-2576
的場運送(株)	的場 敏男	831-0001	大川市下青木63-3	86-3839	88-2318
宮崎建具	宮崎 宏樹	831-0041	大川市小保13	86-3550	86-3550
ヤマトホームコンビニエンス(株)	平井 宏樹	831-0001	大川市下青木63-3	85-0222	85-0223
(株)ワンズコーポレーション	江口 堅太郎	832-0089	柳川市田脇173	85-6008	85-6018



「長女に木のおもちゃであそばせたい」と
木馬を作ったことから始まった。————— 株式会社 飛鳥工房



株式会社 飛鳥工房

所在地/〒840-2104

佐賀県佐賀市諸富町大字徳富118-2

代表者/廣松 利彦

TEL0952-47-5697

FAX0952-47-6307

[URL]http://asukakoubou.com/

[E-mail]info@asukakoubou.com

創業/昭和38年

設立/1986年6月2日

資本金/2,000万円

従業員/9名

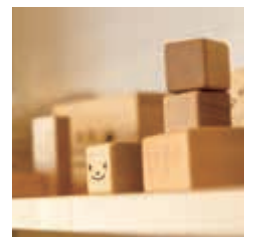
営業時間/10:00 ~ 18:00

定休日/なし(年末年始・GW・御盆を除く)



飛鳥工房は木のおもちゃで「GOOD DESIGN AWARD 2012」「GOOD-TOY AWARDS」を受賞している会社です。このことは、飛鳥工房がめざすおもちゃづくりが、高い理念に基づいて行われているということです。単にデザインが良いおもちゃというだけではなく、次の社会を育むための創造性があるということです。というのも娘の飛鳥ちゃんのために、木馬をつくったことからおもちゃづくりが始まっているからです。もともとは家具のつまみや取手など小さな木

のパーツを丁寧に仕上げることで高い評価を得ていた会社でした。小さなものを研磨して、丁寧に仕上げる。安心して遊ぶおもちゃを作る技術はすでにありました。そこに娘のためにという想いが込められているわけですから、楽しさ、美しさ、あらゆる面でクオリティの高い木のおもちゃが生まれるわけです。こどものためだけでなく、知的好奇心を大切にする大人のインテリアとしてもいかがでしょうか。



TOP VOICE

娘の笑顔を見たい。親の自分たちが安心して与えられるおもちゃは、自分たち自身で作ったおもちゃだと思いました。すべすべに磨いた木と、安心の塗装。自分たちの作った木のおもちゃなら大丈夫。自分のこどものために作ったおもちゃだから、どなたにでも自信を持ってお届けできます。飛鳥工房の良さを体現できる木のスプーン・食器づくりもぜひ体験してください。





図面以上の品をつかって喜んでもらいたい。

その思いで個性豊かなオーダー家具をつくる。——江頭家具店



江頭家具店

所在地/〒831-0004

福岡県大川市大字榎津746-2代表者
/江頭 良介・江頭 良治TEL0944-86-3289
FAX0944-87-6237

【URL】 <http://egashirakaguten.com/>

創業/ 1865(慶応元)年

従業員/ 2名

営業時間/ 9:00~18:00

定休日/ 不定期



県道に面するギャラリーに一歩入ると、個性豊かな作品がずらりと並んでいます。作っているのは四代目となる兄弟のお二人です。まだオーダー家具がめずらしかった30年ほど前から、新しい発想を生かした家具づくりに挑戦し、現在に至っています。奥の工房では木の香り、無垢材の暖かさの中で、作り手としての楽しさを味わいながら制作にはげむ姿が見られます。昔ながらの工法に加え、新しい技術も取り



入れたそのていねいな仕事は、たくさんのお客様からご満足をいただいています。兄弟それぞれの特性や作風を活かして、様々な注文に対応できるのもこの工房の魅力です。そして、その感性と腕を信じて任せてくれる注文主の思いを活かし、「さらにもっとふくらませたものを作って驚かせたい」という良介さん、良治さんです。これからも柔軟な発想と確かな技術が何を生み出すのか、楽しみです。





伝統技法の総桐たんすをはじめ、テーブル・食器棚・チェスト・ベッド・椅子、そして畳風の床など、商品アイテムは実に多彩です。

桐と向き合い続けて100余年。

家具に命を吹き込む職人の手仕事。————— 桐里工房



を入れており、削り直して新品同様によみがえらせるだけでなく、サイズやデザインを変えて現代風にリメイクすることも。さらには「良い家具をつくるためには、良い素材が必要」と、桐の植林にも取り組んでいます。新たな100年を歩み始めた桐里工房では、4代目となる息子にバトンを渡す日も、そう遠くはありません。



創業以来、大川家具の原点ともいえる桐の家具をつくり続けている桐里工房。桐の特性を知り尽くし、その良さを最大限に生かした家具を創り出しています。

多くの家具メーカーが機械化や分業化で効率を優先させる中、桐里工房では昔ながらの木工道具を使い、一つの家具を一人の職人が仕上げる「一人一品製作」を貫いています。「おそらく日本で一番、機械の無い工房だと思います。時代とともに変化していくことも大事ですが、守るべきものは守らなければ」と、工房を守る3代目の稗田社長は言います。

表情豊かなデザインは、稗田社長自身の手によるもの。「まず詩を書くんです。そうすると詩の中に部屋が見えてきて、家具のデザインが浮かんできます」。お客さまと打ち合わせをしながらデッサンを描き起こすオリジナル製品は、全て一点ものです。

古くなった総桐たんすのリフォームにも力



TOP VOICE

家具を買うときは、見た目や値段だけで判断せず、つくり手とじっくり話し、納得するまで思いや価値を聞いていただければと思います。桐箱や桐のげた、桐たんすなど、古くから生活道具として使われてきた桐は、日本の気候風土にもっとも合う木材ではないでしょうか。

桐里工房

所在地/〒831-0004

福岡県大川市榎津74-3

代表者/稗田正弘

TEL0944-86-3938

FAX0944-88-2281

[URL] <http://kirikoubou.com/>

[E-mail] HPのメールフォームから送信ください

創業/明治45年

従業員/9名

営業時間/8:00~17:00

定休日/日祝日、月2回土曜



無垢家具と一枚板の専門店。 手づくりならではの温もりと作り!

きさいこうぼう
木彩工房



木彩工房(きさいこうぼう)

所在地/〒831-0033

福岡県大川市幡保176-23

代表者/小島 嘉則

TEL0944-87-1165

FAX0944-87-1165

[URL] <http://blogs.yahoo.co.jp/tnqgq305>

[E-mail] kisaikobo@yahoo.co.jp

営業時間/ 9:00 ~ 18:00

定休日/第3水曜日

木彩工房は小島嘉則さんがデザイン・製作・販売までを1人で行っている工房です。厳選された無垢材を使い、木目の美しさを活かした一枚板のテーブルやテレビ台など木の家具なら何でも手作り。工房を兼ねた店内にはいるとそこには木が香りあふれ、壁には見事な一枚板や国産材を中心に世界の銘木がズラリと並んでいます。

“70年、80年たつてアンティークとして扱われるような家具作り”を目指す木彩工房。それゆえ、小島さんが作り出す家具には細



TOP VOICE

とにかく頑丈に作る。目指すは100年後のアンティーク和家具。無垢家具に使う木の樹齢は100歳を超えるものも多いんです。その時間の重みを感じ、愛着持って永く共に暮らして欲しいですね。だから、製作にはお時間がかかります。乾燥処理をしっかり行い、組み合わせるほぞ組み・蟻型追入れ接ぎ・通し蟻組みといった伝統的な技法を用いて一点一点手作りで家具を作ります。

お届けまでにはお時間がかかりますが、待ち時間も楽しみに思っただけなら幸いです。



かな所にまで手仕事の技が光ります。たとえば、木に切り込みを入れて組み合わせる「木組」。通し蟻組や蟻型追入れ接ぎという技法で作られた家具は、とりわけ強度に優れています。お店には木組の模型も展示しているので、実際に手にとって匠の技を見てみてください。

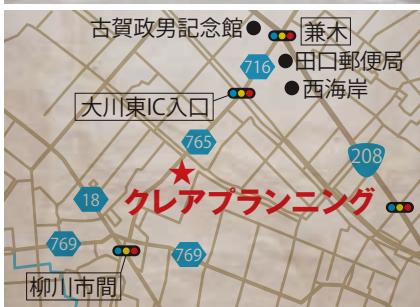
お店に行くと同様な新しい発見にも出会えるはずですよ。





誇りを持って働ける環境を 人と触れ合い成長できる空間を。

—— クレアプランニング株式会社
大川テクニカルセンター(大川ウッドワークミュージアム)



クリアプランニング株式会社
大川テクニカルセンター
所在地/〒831-0026
福岡県大川市大字三丸1231-2
代表者/中田 泰平
TEL0944-87-2664 FAX0944-87-2718
創立/昭和48年8月 設立/昭和56年12月
資本金/ 5000万円
[URL] <https://woodworkmuseum.jimdofree.com/>
[E-mail] wwm@crea-p.co.jp

大川ウッドワークミュージアム
TEL0944-87-2664 FAX0944-87-2718
営業時間/ 10:00 ~ 17:00
定休日/ 年末年始・夏季休業 毎週土・日曜日

クリアプランニングは、確かな技術と経験を駆使して、綿密なヒアリングによって、「空間プロデュース」「商業施設・店舗開発事業」「家具・什器製造販売」を提案しています。だれが、なにををするための空間か?この空間でどのような気持ちになってほしいのか?そのために最適なデザインはなんなのか?その考えのもと、商業施設、店舗(ホテル・百貨店・物販店・飲食店)、文化施設(博物館・美術館)、教育・医療施設、オフィスまで、あらゆる空間づくりを行います。大川テクニカルセンターでは、別注家具を製作しています。併設の大川ウッドワークミュージアムにおいて、「野口忠行 油彩・水彩絵画個展」や「大川彫刻」の展示、大川の歴史が一目でわかる「深川造船所」歴史写真展展示会、イベント等が随時開催されており、大川家具を体感できる観光コースにもなっています。



ここでは、大川を「行って楽しい街」にしたいという中田会長の思いが込められています。そして、エンドユーザーとの結びつきを大切に、エンドユーザーに大川を訴求する場所にしたいという願いも込められています。クリアプランニング大川テクニカルセンターは、単に家具工房というだけでなく、人が育つ場所、人が触れ合う時を提供してくれます。

TOP VOICE

ものを作る前に人を作る、気配りのある職人を育てる、というのが私の考えです。大川は素晴らしいところで、素晴らしい職人がいますが、足りない部分もたくさんあります。ビジネスの前にエンドユーザーと結びつくことで、もっと成長できると信じています。より多くの人たちにこの空間を利用していただければと思っています。



取締役会長 中田 泰之



屋久杉の自然美に魅せられ
丁寧なものづくりでその魅力を伝え続ける。

— 有限会社 古典木工



有限会社 古典木工

住所 / 〒831-0004

福岡県大川市榎津73-1

代表者 / 古賀 通弘

TEL0944-87-1189

FAX0944-86-5815

[URL] <https://yakusugi-koten.com/>

[E-mail] koten_yakusugi@extra.ocn.ne.jp

創業 / 昭和30年

設立 / 昭和47年6月

資本金 / 500万円

従業員 / 7名

営業時間 / 9:00~18:00

定休日 / 日曜



「屋久杉には他の木にはない神秘性があります。厳しい自然環境のもと長い年月をかけて育つために独特の美しい木目を形成す



TOP VOICE

屋久杉は“神木”といわれるほど生命力にあふれ、複雑な木目の美しさが魅力です。希少価値の高い屋久杉の魅力も、多くの方に知って頂きたいと願いひとつひとつ丁寧に製作を続けています。家具や仏壇のほか、茶道具等のオーダーも承ります。

るのです」と屋久杉の魅力を語る古賀社長。古典木工で製作するのは、茶棚や飾り棚、仏壇、テーブルなど、小物からトータル家具にまで及びます。

屋久杉は特別天然記念樹木に指定されており、地球環境保護のため現在は伐採が禁止されています。古典木工では、江戸時代に伐採された木や切り株などが、低温多湿な森のなかで朽ちることなく熟成した土埋木(どまいぼく)を使用しています。屋久杉は一般的な杉に比べ成長が遅いため年輪が多く、樹脂も多いために製材には手がかかります。製材後は、半年以上かけてアク抜きと乾燥、その後ようやく製作行程です。熟練の技により木の個性を引き出し、存在感のある家具へと生まれ変わります。



親子二代の職人技ともみじ材へのこだわりで、 美しく暖かみのあるオリジナル家具を——こや みんげい 木屋民芸



木屋民芸(こやみんげい)
 所在地/〒834-1204
 福岡県八女市黒木町木屋1159
 代表者/坂本 信彦
 TEL0943-42-4808
 FAX0943-42-4808
 [E-mail] info@koubou-kaerude.jp
 創立/平成7年
 従業員数/2名
 営業時間/10:00~18:00
 定休日/不定休



木屋民芸は、天然木を使ってオーダー家具・手作り民芸家具を天然木を製作しています。展示場に隔々まで家具や小物が並び、腰を下ろした椅子が作品だったりして、すべて熟練の技術から生み出されたものでそのほとんどが一品もののオリジナルです。親子2代で民芸家具を作り続けており、なかでも「もみじ材」を使った家具づくりが評判です。もみじ材は万葉集の時代から親しまれてきたそうで、その木目はもみじ材ならではの美しさがあります。しかも木屋民芸のこだわりのもみじは、年輪が細かく詰まっている為非常に強く、荒々しく緻密な木目を持っています。ゆっくり成長したもみじだけを選んでいるので、風や日光等の様々な天候に影響を受け、2つとない木目を作りだしているそうです。特に木肌(皮が付いていた部分)は何ともいえない味があります。しかしこの木目に比例してクセが非常に強く、丸太の状態乾燥させたら1回転するほどねじれこと

があるそうで、その為丸太で1年、製材して早くも3年、厚みがある材料では十年もの間じっくりと乾燥させるとのこと。しかもこの木は虫が付きやすく十年程で枯れてしまうものが多いのですが、家具などには樹齢百年以上の木が必要とのことで、とても貴重な材料となっています。この貴重な「もみじ材」を惜しげもなく使った民芸家具。万葉の頃から日本人が愛した美しい家具をぜひその目で見て触れて確かめてみてください。



TOP VOICE

椅子、テーブル、座卓、火鉢、飾り棚、食器棚、あんどん、和小物など、民芸家具だけでなく、アンティークや今の暮らしに合ったインテリア性の高い家具まで、細やかな注文に応じてオーダー家具を承っています。もみじや桜など素材にこだわっていますので、良い材料が揃わないときは少々お時間をいただくことがありますが、三代続く家具をお届けできると幸いです。



博多織や久留米絣とガラスの組み合わせで
福岡の新しい特産品として海外でも人気。—— 坂井ガラス工房



坂井ガラス工房
所在地/〒831-0005
福岡県大川市大字向島1543
代表者/坂井 徳宏
TEL0944-86-4465
FAX0944-86-4955
[URL]<http://www.marutatsukagu.com/sakai.html>
創業/1952年
設立/1963年
営業時間/9:00~19:00
定休日/不定

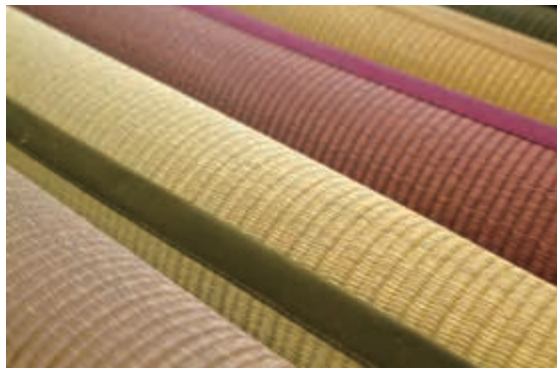


坂井徳宏さんの父は食器棚など台所回りの家具をつくり、扉につけるガラスも扱っていました。食器棚が量産され始めたのをきっかけに、板ガラスづくりひと筋に方向転換。坂井さんも父と一緒に板ガラスを扱っていましたが、量産が進むにつれてガラス工芸品づくりに軸を移し、やがて布を使ったガラスの飾り皿をつくりはじめます。直径がわずかに違う、薄さ2mmの2枚の透明ガラス皿を重ね、その間に博多織や久留米絣、佐賀錦といった高級な布を挟みます(希望の布を持ち込むことも可能です)。布をしわのないように挟んだら、皿のふちに糊代わりの樹脂を塗り、乾いたら出来上がり。30通りの工程を要し、布の図柄を考えて丸く切り取るデザイン感覚が必要です。異素材の組み合わせは難しく、また樹脂が

すぐ乾かないように、多くは冬の作業になるといいます。今後は、布だけでなく和紙ツキ板を使って「木工の大川」らしい作品にも挑戦していきたいと思っています。



TOP VOICE
日本らしさにあふれ、ガラスに金銀の布が映えて美しいこれらの器は、福岡はもちろん日本の特産品として、海外訪問する県知事らの手土産に利用されています。



古来より日本人の生活に欠かせない、人にやさしい 「い草」のある空間づくりの提案 ————— 株式会社トーション



株式会社 トーション

所在地/〒831-0023

福岡県大川市大字下牟田口123番地

代表者/田中 雅博

TEL0944-87-3012

FAX0944-87-7752

[URL]http://www.i-toshin.com/

[E-mail]info@i-toshin.com

創業/昭和46年

資本金/1,000万円

従業員/10名(関東1名)

営業時間/8:00~17:30

定休日/第2・4土曜日、日祭日



い草の産地大川においてい草農家からスタート。い草とともに40年、トーションは国産、とくに筑後地方のい草を用いたる伝統的な花蓐蔭(はなごぞ)や、ラグ、置き畳、上敷き、畳表などい草に関する商品づくりをしています。

い草には、リラックス効果や 吸放湿効果、また空気の浄化作用があり、日本の風土にあった床材として定着していました。しかし近年生活習慣や住宅様式の変化にともない畳の部屋は少なくなってしまいました。ところが畳やい草の良さが近年見直されており、フローリングでい草ラグや畳を敷きたいというお客様の声をいただくことが多くなっているそうです。そこでフローリングが中心

のライフスタイルが多い昨今、生活の中にい草を取り入れる新しいデザインの開発をしています。

また、生活空間により安心して安全ない草の商品を届けるために、い草の原料の選別はもちろん、優れた抗菌、防臭・リラックス効果、肌へのやさしさもひとときの茶染め畳の開発や安全な染料の使用をするなどお客様の立場にたったものづくりをしています。筑後のい草は、材質がやわらかく太く、草の均一性が良く高品質だそうです。染色は自社工場ではエコタイプの染料で染め上げます。伝統的な商品でありながら、デザインや加工に今までにない新しい提案が盛り込まれており、日本の新しい住空間がつけられています。



TOP VOICE

良質の畳表、日々進化する時代の風を融合した花蓐蔭、人にやさしい自然素材い草を、くらしの中に取り入れた空間づくりをテーマに、従来のい草商品はもとより、多方面に生かされる新しいい草商品を創造しつづけています。(田中会長)



釘を使わずに100年使える家具を
使うほどに味のする家具をお届けします。——ナカヤマ木工



ナカヤマ木工
所在地/〒831-0041
福岡県大川市小保住吉800
代表者/中山 貴裕
TEL0944-86-4227
FAX0944-86-4237
[URL]http://nakayama.life
[E-mail]info@nkym-solid.jp
設立/昭和37年
従業員/1名
営業時間/8:00 ~ 18:00
定休日/日曜日
※予約をすれば可



「親子3代、孫の代まで使える家具を作ることが基本姿勢です」と語る中山貴裕さん。父親である先代のもと、指物家具作りの基礎、技術の継承にはげみ、確かな技術のもと、1980年ごろから本格派の無垢家具、オイルフィニッシュ仕上げのカントリースタイルの家具づくりを始めます。2007年には一級家具製作技能士を取得。また2007年と2010年にはグッドデザイン賞を受賞。3年の開発期間を経て生まれたスタッキングできる「ソデント デスク」は素材使いとデザインで、新しい感動を与えてくれました。



多くの人々の期待が尽きないナカヤマさんは2011年には佐賀マイスターが授与されます。さまざまな木材種を活かしたシリーズ展開をしているのが特徴で、強く印象に残るブランドを数多く提案しています。



TOP VOICE

父が50年ほど前にはじめまして、ぼくが跡を継いで30年ほど家具づくりをやってきました。今は基本的にフルオーダー。だから家具のサイズや木材の変更も可能です。「ここがあともう少し長ければ…」といったお客様の声に1cm刻みで柔軟に対応できます。自分が思い描いた家具が最終的に理想のカたちとなって完成したときの達成感がいいですね。ものづくりの中に幸せがあると感じます。こうしてお客様とともに家族となっていく家具を作り続けています。



漆塗りと桐という素材にこだわって

美しく日常使いができる家具を提案する。—— なみとこうぼう 七三人工房



七三人工房(なみとこうぼう)

所在地/〒831-0005

福岡県大川市大字向島1488

代表者/古川 七三人

(日展作家、一級家具製作技能士)

TEL0944-88-3490 FAX0944-88-3490

[URL] <http://www.sashimonoya.jp/namito/>

[E-mail] khemtpgja@hi.enjoy.ne.jp

七三人工房は異色な家具メーカーです。というのも代表の古川七三人さんが、日展に9度も入選していらっしゃるという事。一級家具製作技能士の資格を持つ家具職人の顔と芸術家としての顔をお持ちなのです。家具づくりにもアートにも使われているのが「漆」です。

漆は木の樹液なので、木との相性がとても良いそうです。しかし、漆は効果で手間と技術を要するので、家具の塗料を漆を使うところはほとんどありません。

さらに、桐といえば収納に使うのが一般的ですが、軽く使いやすくするためにテーブルの天板に使ったり、柔らかな座心地を出すために椅子の座面に使ったりしているそうです。



ひとりの職人がすべての行程を行うというのもアーティストならではの、芸術性と職人気質から生まれる家具。漆と桐にこだわってきたからこそできる新しい素材のマッチング。暮らしの中で長く触れている事でわかるやさしい家具を提案してくれます。



受賞

日展: 9回入選

日本新工芸展: NHK会長賞

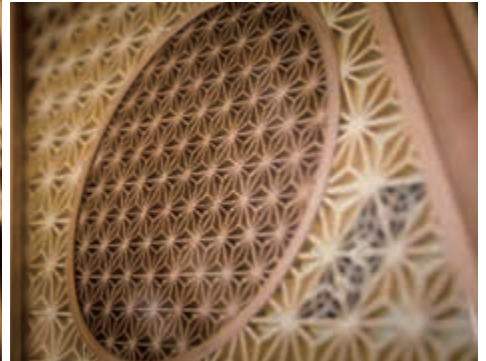
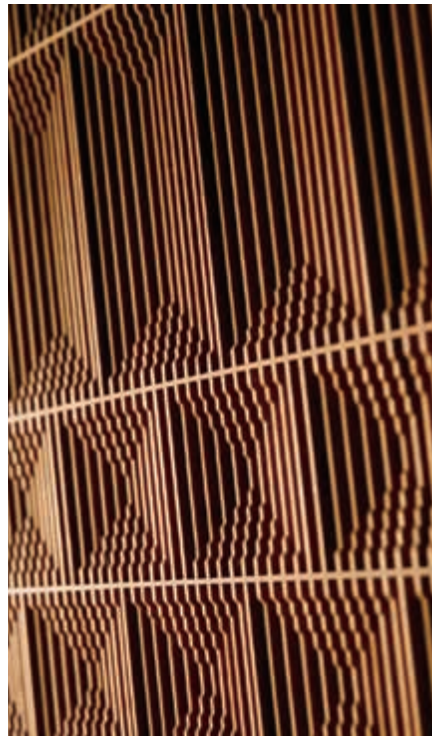
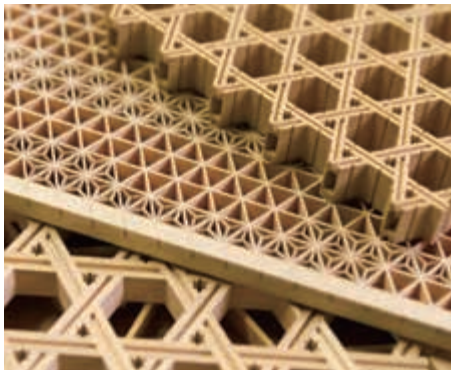
県展: 福岡県知事賞



TOP VOICE

桐という素材は軽く、他の木材より触ったときに暖かみがあると思うんですよ。そこに漆を塗ることで、耐久性が上がり、重厚感や落ち着きが生まれます。漆は塗料の中でも最高です。使い続けてもはげる事がなく、さらに木目がはっきりして艶がまして美しくなります。長く使っていたらうで、最良の組み合わせだと思います。

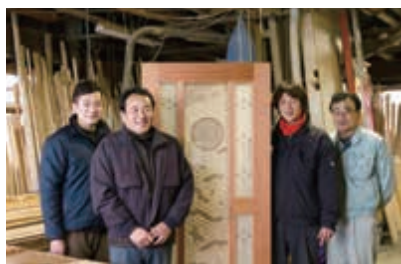




創業60年、家族三代続く建具製作所、
 良いものをさらに良いものへ変えていきます。— 仁田原建具製作所



仁田原建具製作所
 所在地 / 〒831-0005
 福岡県大川市向島924-6
 代表者 / 仁田原 進一
 TEL・FAX 0944-86-4302
 [URL] <http://www.nitaharatategu.com/>
 [E-mail] info@nitaharatategu.com
 創業 / 1951年8月
 営業時間 / 8:00~18:00
 定休日 / 不定休
 (お越しになる時はお電話でも確認お願いします)



ここは、約300年続く大川組子の伝統の中で福岡県現代の名工の遺伝子を受け継ぐ建具製作所です。組子の加工は、非常に繊細な技術が必要とするため、0.001ミリ単位を感覚で判断しなければならないとのこと。計算され尽くしたデザインに合わせ精密な角度に、長年の経験でしか得られない職人の腕と感覚で生み出されます。釘を一切使わない組子細工において、仁田原建具製作所では積極的に新しい手法を取り入れながらも、職人の感覚が要となる部分では妥協を許さない独自の手加工技術を用いてさらに良いものへと日々ものづくりを進化させています。

材料選びにもこだわりがあります。5年以上

TOP VOICE

お客様からいただいたご注文の内容に添って、製作用の図面を起こします。ご希望に合わせて様々な図柄が製作出来ますので、気軽にご相談ください。弊社の作品を選んでいただいたお客様と共にこれからも歩んでいくんだという強い思いを持ち、いつでも頼りにしていただける場所をご用意していきたく思います。



自然乾燥させた材木などを選別。中には樹齢300年にものぼる天然の檜を使うこともあるそうです。組子の制作は、使用する木材が硬すぎても柔らかすぎてもピタリとはまらないため、木の性質と特性を知りつくした熟練の技を必要とするそうです。伝統の技術が次々と途絶えてしまう中、初代が必死に積み上げてきた経験と伝統を、大切に守り続け、新しい型の考案や技術の向上を目指していくそうです。





こどもたちが楽しく遊べて安全に使える、
桐を使った家具を提案します。—— マルヤマ木工



マルヤマ木工

所在地 / 〒831-0028

福岡県大川市郷原471

代表者 / 田島 義行

TEL・FAX / 0944-86-3519

携帯 / 090-1878-8890

[URL] <http://www.sashimonoya.jp/maruyama/>

[E-mail] marumoku@triton.ocn.ne.jp

従業員 / 1名

営業時間 / 9:00~18:00

定休日 / 日曜

マルヤマ木工は桐を使ったオーダー家具、オリジナル家具を製造しています。その技術は評価も高く、福岡市動物園の休憩所にある曲線を活かした美しいベンチやイギリスの船舶会社が所有・運航している外航クルーズ客船の船内装飾にも活かされています。滑らかな曲線が出せるのは、1点1点オーダーを受けて造るマルヤマ木工だからこそ造れる商品です。

このように国内の公共施設や世界的な豪華客船などで活躍しているかと思えば、その工房の中で特に目を引くのがかわいらしいこども向けの家具です。もともとは自分のこどものために木の家具を作ったことが始まりとのこと。しかし、こどもの家具といっても大きさがこどもサイズというだけでマルヤマ木工得意の桐を使った本格的な作りの家具です。

おうち型クローゼットは幼稚園に通う子供が楽しく仕たく、着替えができるという気持ちから作られています。上には荷物を置く収納スペースや、側面にはお花のフック

ると、ハーモニカのやさしい音が出る仕組みになっています。また、光が入るように乳白色アクリル板を入れ、手元が明るくなるような工夫になっています。

たとえこどもであっても使い手のことを細やかに思いやる。これがマルヤマ木工のすべての注文家具に生きている思想です。



TOP VOICE

大量生産ではなく、注文を頂いてから手間暇を惜みず、一つひとつ手作業で造り上げています。お客様の意向や、部屋の間取り、雰囲気などをお聞きし、お客様の住宅事情に合わせて、材質や家具の色などをアドバイスいたします。そしてイメージしやすいようにデザインを図面に起こし、お客様が納得されたら家具を造りはじめます。



があり機能性抜群です。

桐たんすの技術を用いており、機密性が高いため、引き出しを開閉す



桐箆笥をつくり続けて40数年。

木釘を使ってすべて手作業で仕上げます。—— 本村家具



本村家具

所在地/〒831-0004

福岡県大川市大字榎津860-2

代表者/本村 良一

TEL0944-86-2338

創業/明治25年

営業時間/ 8:30 ~ 15:00

定休日/不定

※在庫数点あります。



祖父の代から桐箆笥を作り続けて3代目になる本村良一さん。大川伝統工芸振興会に属し、「福岡県現代の名工」にも選ばれています。生活スタイルの変化とともに高級な桐箆笥を求める客は減少しましたが、本村さんのモノづくりに対する探求心と面白みは職人歴40年以上経った今もなお衰えず、一人コツコツと桐箆笥を作っています。

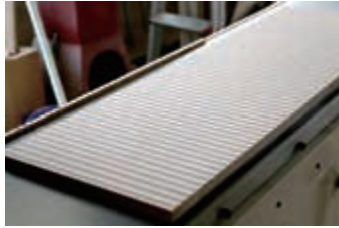


TOP VOICE

ろうや夜叉を塗って仕上げた本村さんの桐箆笥はしっかりしている上に端正で上品。とはいえ、まだまだ気になるところはあるようで、本村さんが作業場から離れることは当分なさそうです。

作業場を訪ねると、本村さんはチリーつなく、また物音一つしない作業場で小さな木釘を作っていました。「木釘は錆びず、伸縮する木材からはずれることがありません。桐箆笥は金釘を使わず、外枠も引き出しもすべて木釘で仕上げます。既製の木釘を使いますが、時々こうして自分でも作ります」。桐箆笥はほとんどが手作業。姿かたちはどれも同じように見えますが、「これは自分が作った!」とひと目でわかるそうです。





職人の技術力と機械力を生かし

Made in Okawaを世界へ。——株式会社ワンスコーポレーション



株式会社ワンスコーポレーション
所在地／

[本社]〒832-0089 福岡県柳川市田脇173
[工場]〒832-0005 福岡県柳川市西蒲池214-1
代表者／江口 堅太郎
TEL0944-85-6008
FAX0944-85-6018
[URL]http://1scorporation.jp/
[E-mail]kentaro_e@1scorporation.jp
設立／平成20年6月
資本金／800万円
従業員／11名
営業時間／8:00～17:30
定休日／日祝日、第2・第4土曜



ワンスコーポレーションは、エグチ株式会社のインテリア事業部から独立。最初は家具の部材加工を行っていました。半年ほど経ってから家具の製造を始めますがほぼゼロからのスタートとなります。当初は低価格のタンスを製造していましたが、3年ほど前から別注家具も作成できるようになります。もともと効率化を図るために導入した機械でしたが、その機能を十分に引き出したら精度の高い家具を作ることができたのです。しかし、いつもやっている作業とは、別の作業をやらなくてはいけないので、職人を説得するのが大変だったそうです。ところが、



観光列車や客船、ホテルなどの別注家具を作るようになってくると、みんなの意識が少しずつ変わってきました。

ホテル、駅の待合室など、やりがいのある仕事が次々としてくるようになります。今、高級リゾートホテルなどの屋外家具を製作中とのこと。この分野はヨーロッパメーカーのものがほとんどだそうで、日本独特の感性を生かして、ヨーロッパメーカーに負けない屋外家具を提案。国内はもとよりアジアのリゾート地へとメイドイン大川を広げていきたいそうです。



TOP VOICE

将来どのような仕事が増えるかを予想して、どのように仕事を転換させるかを常に考え、それに合った機械の導入を考えています。依頼して下さるお客様は、どのような機械があるかで、こんなこともできる、あんなこともできると判断してくれます。良い機械を入れて、それを120%使いこなすことで、次の仕事が入ってきます。機械力と職人の努力、そして教育が我が社の強みだと思っています。